

福島経済マンスリー

3月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成28年3月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いていることに加え、公共投資に頭打ち感が出始めているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。	→	
消費動向	大型小売店販売額は、合計では12ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、2ヵ月連続で前年を下回った。	→	
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2ヵ月連続で前年を上回ったものの、請負金額、保証金額とも2ヵ月連続で前年を下回った。	→	
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が3ヵ月連続、床面積が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回ったものの、工事費予定額が2ヵ月連続で前年を下回った。	→	
住宅投資	新設住宅着工戸数は4ヵ月連続で前年を上回った。内訳をみると、持家が2ヵ月連続、分譲が7ヵ月連続、貸家が4ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。	↗	
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月ぶりで下降するとともに、前年比が3ヵ月連続で下降した。業種別の前月比をみると、6業種で上昇し、13業種で下降した。	→	
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を0.06ポイント下回り、原数値が前年を0.03ポイント下回った。一方、雇用保険受給者実人員は前年を1.3%上回った。	→	

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（↗：改善、→：不変、↘：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は2月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良 い

悪 い



2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		27年10月	11 月	12 月	28年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	4.1	0.8	2.2	4.1	4.1	1.1
	乗用車新車登録台数	△ 6.2	△ 6.4	△ 14.3	0.7	△ 1.5	△ 13.8
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 8.0	73.8	△ 42.6	44.2	△ 75.5	△ 16.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 6.7	77.9	1.5	△ 33.5	△ 4.6	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	23.4	△ 8.3	3.5	39.3	18.4	53.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	△ 5.0	0.0	△ 6.6	△ 2.1	△ 0.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	△ 0.06	△ 0.04	△ 0.05	△ 0.04	△ 0.04	△ 0.03
	雇用保険受給者実人員	△ 1.4	3.5	△ 1.1	0.0	2.1	1.3

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		27年10月	11 月	12 月	28年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	5.7	△ 1.0	27.5	△ 17.1	△ 9.0	9.2
	乗用車新車登録台数	△ 14.3	4.7	△ 13.0	13.8	14.6	45.6
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	39.0	△ 17.9	△ 20.7	29.8	△ 61.0	236.1
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	109.0	△ 38.7	△ 25.2	△ 26.8	19.5	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	3.8	△ 15.3	21.7	△ 23.2	16.3	8.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	3.0	0.3	△ 2.5	7.8	△ 3.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	△ 0.03	0.02	0.03	△ 0.02	△ 0.03	△ 0.06
	雇用保険受給者実人員	△ 6.8	△ 5.7	△ 1.7	△ 1.5	2.5	0.9

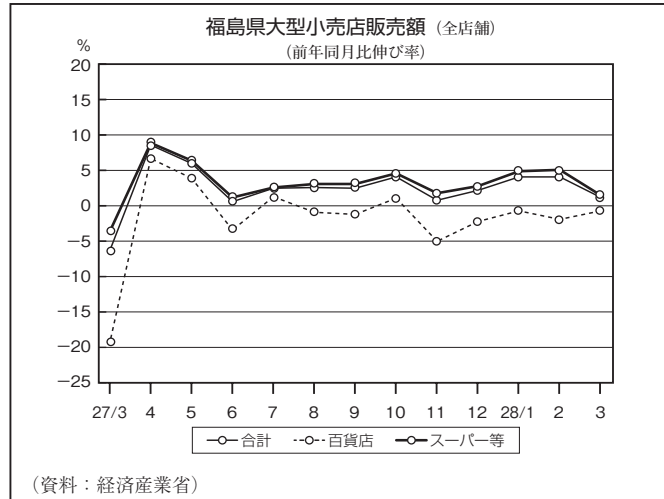
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

大型小売店：12ヵ月連続で前年比増

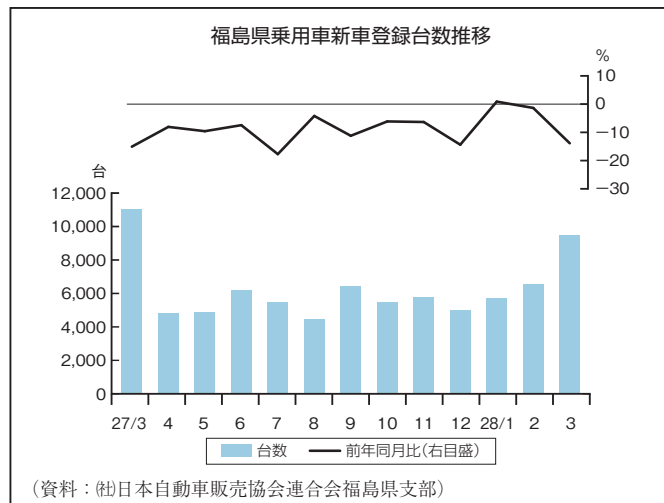
3月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース、速報値）は、合計で213億87百万円（前年同月比+1.1%）と12ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計では同△0.7%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったことなどから、合計では同+1.3%となった。



乗用車販売：2ヵ月連続で前年比減

3月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で9,490台（前年同月比△13.8%）となり、2ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が3,120台（同△8.2%）と4ヵ月ぶり、小型車が3,015台（同△8.3%）と3ヵ月連続、軽乗用車が3,355台（同△22.4%）と15ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

※下記の通り、平成28年2月が前年比減となったことに伴い、3月は「2ヵ月連続で前年比減」。

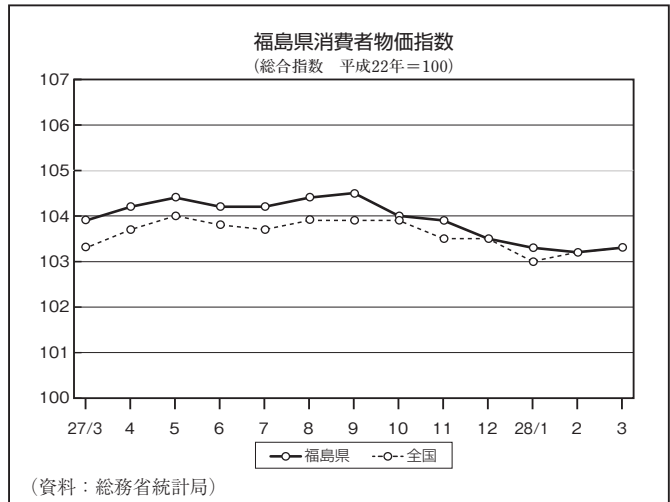


※下表の通り、「福島の前進」平成28年4月号と5月号に掲載した平成28年1月と2月の乗用車新車登録台数に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

	正	誤
平成28年1月	5,686台（前年比+0.7%）	6,268台（前年比+11.0%）
2月	6,517台（前年比△1.5%）	7,197台（前年比+8.7%）

消費者物価指数：前年比で下降、前月比で上昇

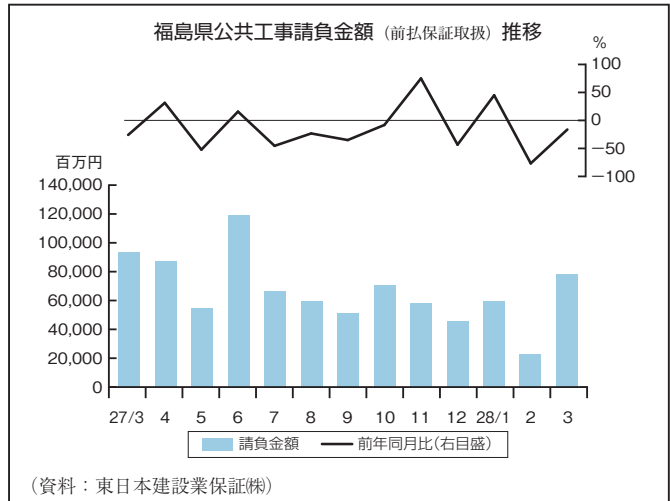
3月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）でみると、103.3で前年同月比△0.6%、前月比+0.1%となった。費目別に前月比でみると、「被服・履物」が103.8（前月比+5.2%）など4費目で上昇したものの、「教養娯楽」の97.8（同△0.9%）など3費目で下降した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月連続で前年比減

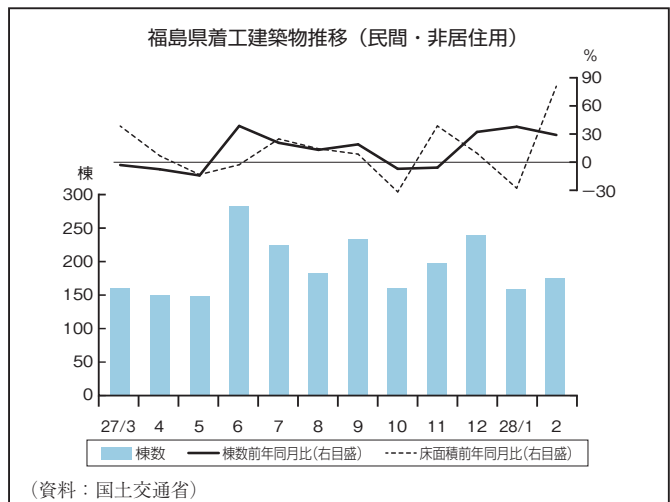
3月の公共工事前払保証取扱は、件数が424件（前年同月比+15.2%）と2ヵ月連続で前年を上回ったものの、保証金額が415億5百万円（同△36.2%）、請負金額が790億41百万円（同△16.0%）と2ヵ月連続でいずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2ヵ月連続で前年比減

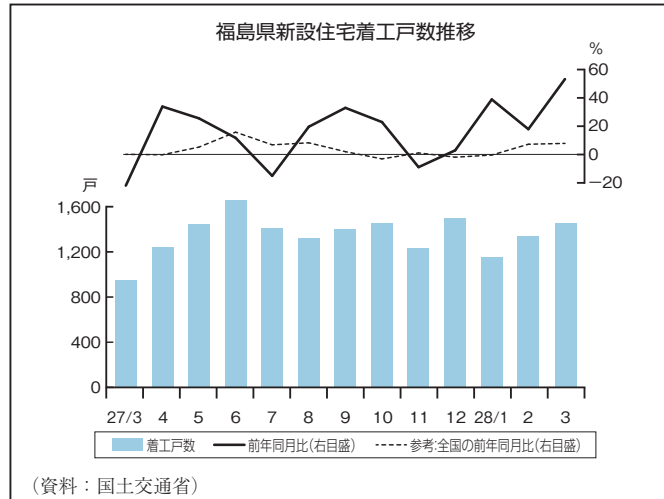
2月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が175棟（前年同月比+28.7%）と3ヵ月連続、床面積が74,895㎡（同+80.1%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回ったものの、工事費予定額が140億25百万円（同△4.6%）と2ヵ月連続で前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：4ヵ月連続で前年比増

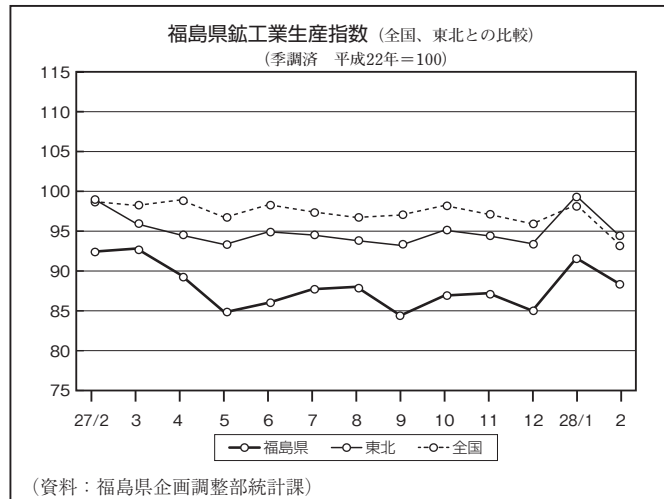
3月の県内新設住宅着工戸数は、1,455戸（前年同月比+53.6%）と4ヵ月連続で前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が487戸（同+0.2%）と2ヵ月連続、「分譲」が237戸（同+119.4%）と7ヵ月連続、「貸家」が621戸（同+78.4%）と4ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比、前月比とも下降

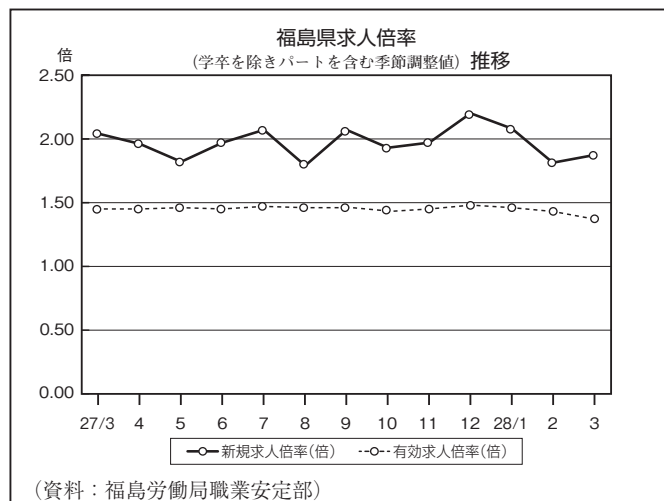
2月の鉱工業生産指数は、88.3（季節調整値）で前月比△3.6%と2ヵ月ぶりで前月を下回り、原指数が88.4で前年比△0.6%と3ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「化学工業」（前月比+16.7%）など6業種で上昇したが、「はん用・生産用・業務用機械工業」（同△16.6%）など13業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は前年比増

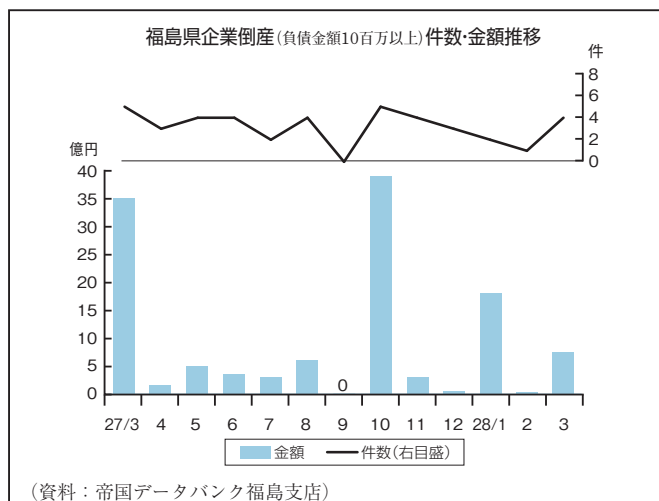
3月の新規求人倍率は、季節調整値が1.87倍（前月比+0.06ポイント）、原数値が1.72倍（前年同月比△0.05ポイント）となった。また、3月の有効求人倍率は、季節調整値が1.37倍（前月比△0.06ポイント）、原数値が1.40倍（前年同月比△0.03ポイント）となった。また、3月の雇用保険受給者実人員は5,965人（前年同月比+1.3%）で前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：件数、金額とも前年比減

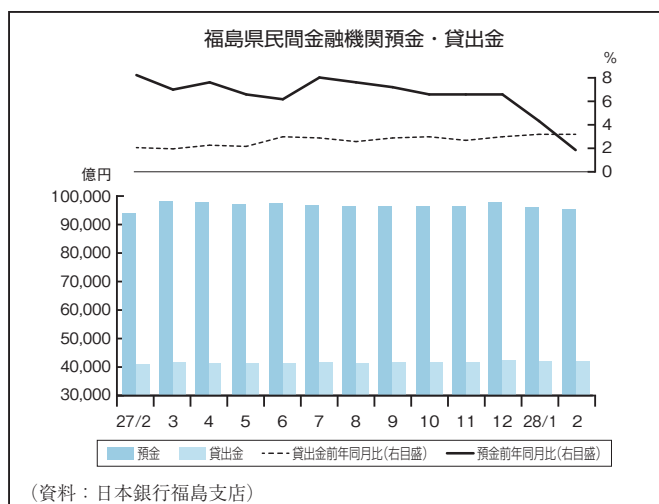
3月の企業倒産（負債金額100万円以上）は、件数が4件（前年同月比△20.0%）、負債総額が7億29百万円（同△79.1%）となり、件数、負債総額とも前年を下回った。業種別では、建設業、製造業、卸売業、サービス業が各1件となった。



金融動向

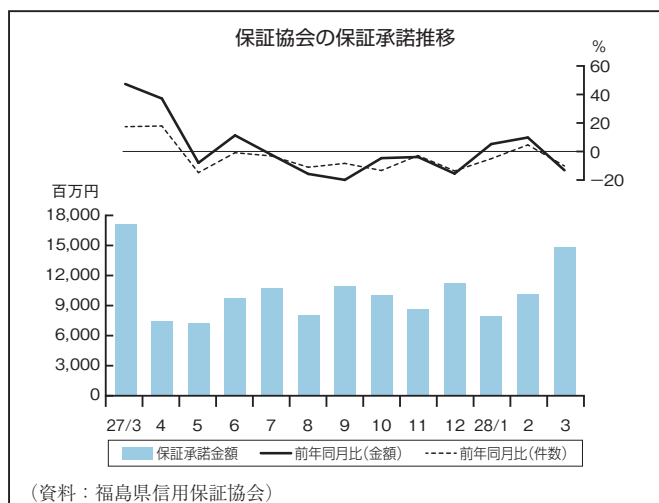
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の2月末の預金残高は、9兆5,597億円（前年同月比+1.8%）と9年0ヵ月連続、貸出金残高は、4兆2,255億円（同+3.1%）と33ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数、金額とも前年比増

3月の保証承諾は、件数が1,119件（前年同月比△10.3%）、保証金額が148億18百万円（同△13.3%）となった。また、3月末日現在の保証債務残高は、件数41,458件（同△7.1%）、金額3,634億55百万円（同△8.4%）となった。一方、3月中の代位弁済は、件数が70件（同+48.9%）、金額が8億30百万円（同+131.3%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 3月の家電量販店の売上高は、パソコンが前年を下回ったものの、エアコンや洗濯機などが前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

ホームセンター 3月のホームセンターの売上高は、園芸や日用品などが前年を上回ったことから、合計でも前年を5%ほど上回った。

旅行 3月の旅行取扱額は、国外が個人、団体とも低調だったものの、国内が前年を大きく上回ったことから、合計では前年を50%以上上回った。

高速道路 3月の県内自動車道出入台数は、合計で5,485,801台（前年同月比+2.5%）と、16ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,844,077台（同+8.1%）と25ヵ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は395,701台（同+0.05%）、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,686,064台（同+0.5%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。一方、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は559,959台（同△3.1%）と3ヵ月連続で前年を下回った。

福島空港 3月の福島空港国内定期路線の利用状況は、20,078人（前年同月比△3.5%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は5,304人（同△27.0%）、大阪便は14,774人（同+9.1%）となった。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

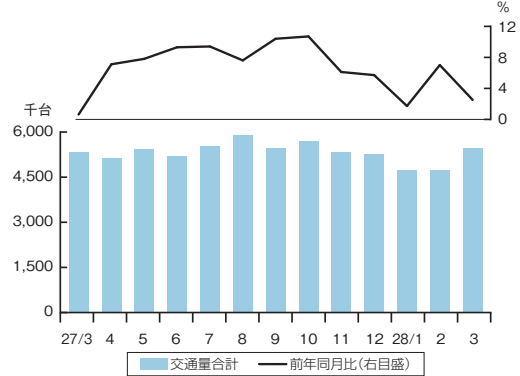
※企業ヒアリングによる結果

化学 3月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国向けの供給過剰による影響で、価格が低下していることなどから、合計では前年をやや下回る生産が続いている。

鉄鋼・金属 3月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が国内を中心に受注が振るわず、前年を15%程度下回る生産水準となった。また、半導体向け電子材は、国内および中国など国外からの受注が減少していることから、前年を20%以上下回る生産となった。3月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いているが、前年の落ち込みが大きかったことなどから、前年を10%程度上回る生産となった。陸船用バルブは、海外製品との競合などから、受注量の減少が続いており、前年を10%以上下回る生産となった。

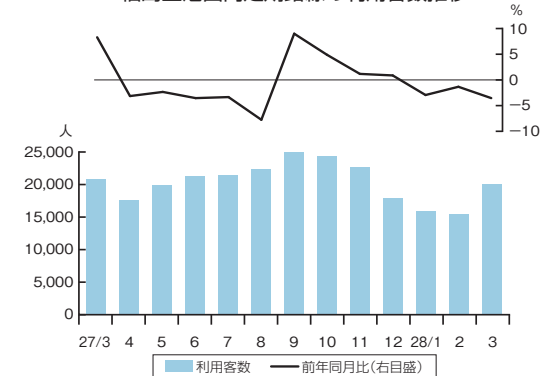
輸送用機械 3月の鋳造品は、トラック用では、タ

福島県高速道路出入交通量



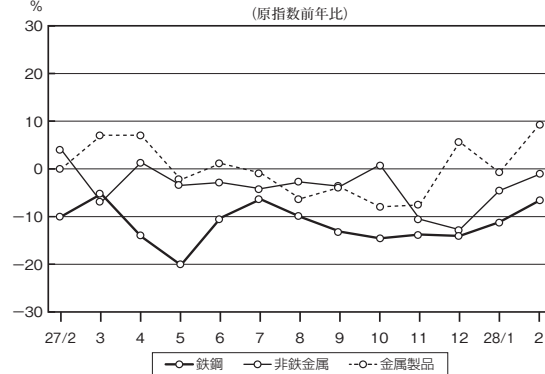
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



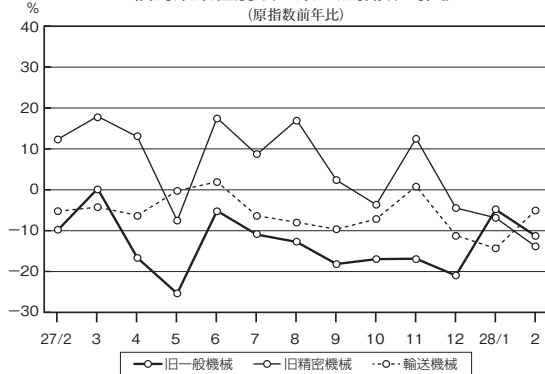
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移



(資料：福島県企画調整部統計課)

イやインドネシアなどからの受注減が続いており、合計では前年を10%程度下回る生産となった。また、オイルシールも、国内の自動車販売市場が伸び悩んでいることなどから、合計では計画を5%程度下回る生産となった。

電気機械 3月の電気機械の生産は、モーターが前年を下回ったものの、誘導炉や変圧器が増加したことから、合計では前年を10%以上上回った。

情報通信機械 3月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）、国内向けモバイル基地局がともに前年を大きく下回ったことから、合計では前年を30%以上下回った。

電子部品・デバイス 3月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を70%ほど上回った。

精密機械 3月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移しており、合計では前年を5%ほど上回る生産水準となった。一方、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国外からの受注が伸び悩んでいることから、全体では前年を5%ほど下回る生産となった。

窯業・土石 3月の生コンクリート出荷量は、全体で159,641m³（前年同月比△3.7%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。民需・官公需別にみると、官公需はいわきと相双を除く4地区が前年を下回り、合計で同△0.8%となった。一方、民需は県中といわきが前年を下回ったことから、合計で同△3.8%となった。

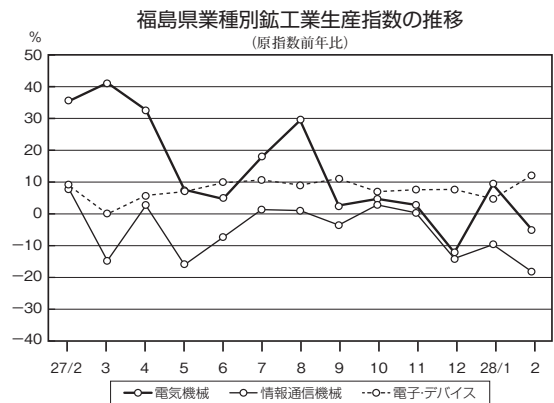
紙・紙加工品 3月の製紙は、感熱紙を中心に輸出が伸びたことなどから、合計では前年を5%ほど上回る生産水準となった。

清酒 3月の清酒移出数量は、1,212kL（前年同月比+5.8%）と3ヵ月連続で前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が627kL（同△1.1%）と6ヵ月連続で前年を下回ったが、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）は585kL（同+14.4%）と12ヵ月連続で前年を上回った。

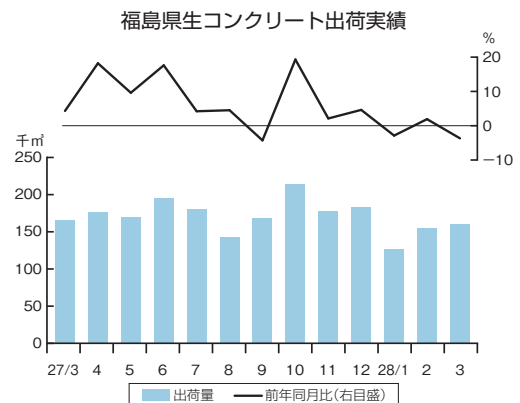
化合繊維物 3月の化合繊維物は、単価が低下しているものの、生産量が前年を30%ほど上回ったことから、生産額は前年を10%ほど上回った。

ニット 3月のニットは、秋冬物サンプルを中心に安定した稼働率を維持しており、生産量、生産額とも前年比で+5%となった。

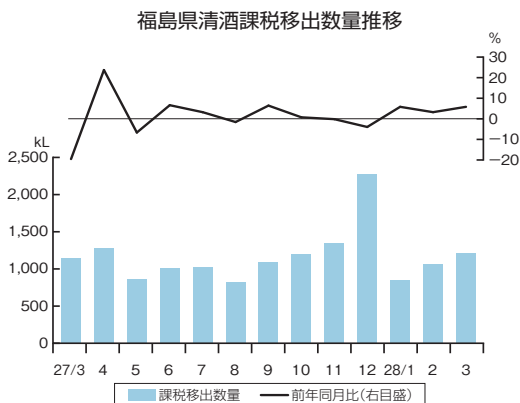
大口電力 3月の大口電力販売量は、487百万kWh（前年同月比△2.2%）と8ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で94百万kWh（同△12.6%）、「電気機械」で79百万kWh（同△1.0%）、「輸送用機械」で55百万kWh（同△1.4%）、「化学」で46百万kWh（同0.0%）、「一般機械」で26百万kWh（同△1.5%）、「紙・パルプ」で28百万kWh（同+5.8%）となっている。



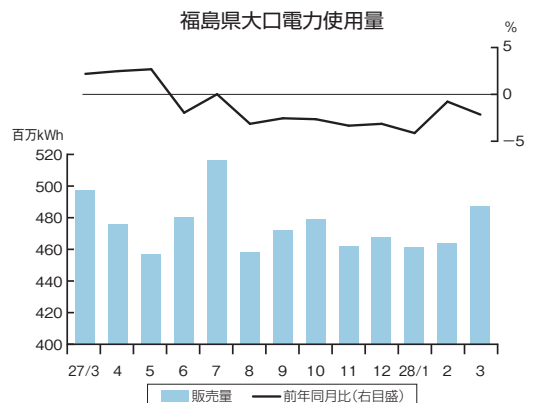
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)